

新型コロナウイルス感染症にかかる県の対応の確認について

会派名	新政みえ	議員名	
質問日	令和2年3月6日	13時までに事務局に提出してください	
質問	<p><u>【1】ペットの感染予防等について</u></p> <p>ペットの感染症予防等の対策について情報提供も含めどのように取り組んでいくのか。</p>		
回答部局等	医療保健部 新型コロナウイルス感染症対策チーム		
回答日	令和2年3月9日	原則として質問日の翌日までに回答してください	
回答	<p>香港において、新型コロナウイルスに感染した患者のペットを検査したところ、陽性反応が出たとの報道がありました。</p> <p>当該事例について、公益社団法人日本獣医師会や国際獣疫事務局からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットに関する新型コロナウイルスの感染が報告された事例は香港の1件のみであり、その後犬から犬への感染等も確認されておらず、日本におけるペットの新型コロナウイルスの感染は現時点では問題にならないこと。 ・犬から人への新型コロナウイルスの感染事例の事実は確認されておらず、飼育者から犬に移行したものと考えることが妥当であり、飼育者がしっかりした感染防御の対応をとることが重要であること。 <p>などの見解が示されています。</p> <p>また、県ではこれまでペットに関する感染症予防を目的として、狂犬病予防接種の励行、県ホームページ、チラシ、三重県動物愛護推進センター「あすまいる」で行うイベント等での啓発、市町担当者等を対象とした動物由来感染症（動物から人に感染する病気）に関する講習、「動物由来感染症ハンドブック」の配布等を行ってきました。引き続きこれらの取組を通じて、飼育者やペットを感染症から守るための取組を行ってまいります。</p> <p>新型コロナウイルスのペットへの感染について、今後も情報収集を行うとともに、飼育者の感染予防や国等の情報について情報提供を行うなど、適切に対応してまいります。</p>		

新型コロナウイルス感染症にかかる県の対応の確認について

会派名	新政みえ	議員名	
質問日	令和2年3月6日	13時までに事務局に提出してください	
質問	<p><u>【2】子どもたちへの対応について</u></p> <p>見守りが必要な子どもの居場所として、児童館・教育集会所が受け入れているところはあるのか状況をお聞かせください。</p> <p>給食がなくて困っている子どもたちの状況把握などは行っているのかお聞かせください。</p> <p>自主登校している市町別の子どもの状況を普通学級と特別学級に分けて状況をお聞かせください。</p>		
回答部局等	下記のとおり		
回答日	令和2年3月9日	原則として質問日の翌日までに回答してください	
回答	<p>見守りが必要な子どもの居場所として、児童館・教育集会所が受け入れているところはあるのか状況をお聞かせください。</p> <p>県内には、現在、10市4町に68の教育集会所があり、このうち常勤の職員を配置し、常時開所しているのは20箇所です。今回の小中学校等の臨時休業中に、周辺地域に居住する子どものうち、年齢等の状況や保護者の就労等により、日中、自宅で過ごすことが困難な子どもを16箇所（6市1町）で受け入れています。</p> <p>開所している教育集会所では、咳エチケットや手洗い等の感染症対策を行うとともに、感染リスクが高まらないよう活動内容に留意しながら、主に、補充学習等が行われています。また、体調に不安がありそうな子どもについては、保護者に連絡し、自宅に戻すようにしています。（教育委員会事務局人権教育課）</p> <p>県内の42児童館に対し運営状況を調査したところ、通常通り開館しているのが8館、自宅待機や託児に支障のある場合に利用を認める等条件付き開館は15館であり、合計23館で児童の受け入れを行っています。なお、休館中の児童館においても放課後児童クラブが併設されている場合、放課後児童クラブについては開所されています。</p> <p>今後も、見守りが必要な子どもが地域で安心して過ごせるよう、各関係機関との情報共有を行うとともに、市町からの相談に丁寧に対応してまいります。（子ども・福祉部少子化対策課）</p>		

<p>回答</p>	<p>給食がなくて困っている子どもたちの状況把握などは行っているのかお聞かせください。</p> <p>小中学校及び特別支援学校においては、担任等から保護者等への連絡や、必要に応じて家庭訪問を行うことによって、子どもたちの食生活や健康状態、子どもの居場所の確保、困っていること等について丁寧に聞き取りを行っています。そのうえで、家庭や福祉サービス等において居場所が確保できない場合は、多くの子どもたちが同じ場所に長時間集まることのないよう必要な対策を行い、学校の図書館等の場所を活用し、登校できる体制を整えているところです。現在、公立小中学校においては、登校している児童生徒に昼食を提供している学校もあります。特別支援学校においては、登校希望のある幼児児童生徒には、給食と同様の昼食を提供しています。</p> <p>県教育委員会としましては、引き続き状況の把握に努めるとともに、子どもたちや保護者に対して丁寧な対応ができるよう、市町と連携してまいります。(教育委員会事務局小中学校教育課、特別支援教育課)</p>
<p>回答</p>	<p>自主登校している市町別の子どもたちの状況を普通学級と特別学級に分けて状況をお聞かせください。</p> <p>現在、18市町において、授業時間での対応や時間を限定しての対応など、学校での受け入れが行われています。受け入れている学校では、普通学級、特別支援学級を問わず、家庭の事情など個別の状況に応じ、きめ細かに対応しています。</p> <p>特別支援学級に在籍する子どもたちの状況として、半日登校し半日福祉施設で過ごす場合や、終日福祉施設で過ごす場合、保護者の協力の下で自宅で過ごす場合など、子どもや家庭、学校の状況に応じてさまざまですが、例えば、特別支援学級に在籍する子どもが放課後児童クラブにおいて安心して過ごせるよう、小学校の特別支援学級のサポーターがスタッフとして子どもたちの支援にかかわる事例など、それぞれの状況に応じた取組を進めていただいているところです。(教育委員会事務局小中学校教育課)</p>

新型コロナウイルス感染症にかかる県の対応の確認について

会派名	新政みえ	議員名	
質問日	令和2年3月6日	13時までに事務局に提出してください	
質問	<p><u>【3】保育所のマスク・手指消毒液の確保について</u></p> <p>学童保育等だけでなく保育所がマスクや手指消毒液が不足していて現場では大変困っています。各保育所の状況についてお聞かせください。</p>		
回答部局等	下記のとおり		
回答日	令和2年3月9日	原則として質問日の翌日までに回答してください	
回答	<p>マスク等の不足は全国的な問題であり、国においてはメーカーに増産体制を要請する等の対策が行われているところですが、県においても保育関係団体を通じて緊急の状況調査を行い、保育所においてもマスク等が不足しているとの声を多くいただきました。</p> <p>保育事業の実施主体である市町において、備蓄しているマスク等を保育所等へ配付するなどの対応が既にとられているところですが、今後の対応に向けて、全国知事会を通じ、医療機関や教育機関、保育所等で使用するマスク等の必要数を国において確保し、安定的かつ優先的に提供することを求めています。</p> <p>あわせて、県においてもマスク等の確保に努め、必要とする施設等に配布できるよう、関係部局と連携して取り組んでいきます。(医療保健部新型コロナウイルス感染症対策チーム、子ども・福祉部少子化対策課)</p>		

新型コロナウイルス感染症にかかる県の対応の確認について

会派名	日本共産党	議員名	山本 里香
質問日	令和2年3月6日 13時までに事務局に提出してください		
質問	<ul style="list-style-type: none"> ・休校にした学校の個別指導などの状況(3/2~3/6) ・三重大学の卒業生で中国に帰れない方が出ている、ビザが切れてしまうとか、滞在ができるのか、どうするのか、政府の対応は下りてきていますか。 ・高校生が立ち寄りやすいカラオケルーム・ゲームセンターなどへの対応はどうなっていますか。 ・幼稚園・学校・医療機関(個人病院含む)などへのマスク、消毒液の配付の状況・予定は? 		
回答部局等	下記のとおり		
回答日	令和2年3月9日 原則として質問日の翌日までに回答してください		
回答	<ul style="list-style-type: none"> ・休校にした学校の個別指導などの状況(3/2~3/6) <p>県立高等学校では、3月2日から5日までの間に、56校中50校で延べ2,407人(1校当たり平均43人)が学校に登校し、大学進学等に係る進路指導や、単位や履修の認定に係る補習授業等、必要な支援をうけています。</p> <p>小中学校では、課題を子どもたちに配付し、家庭学習を促すとともに、定期的な家庭訪問や電話連絡等により、子どもたちの健康状況、生活状況、学習状況などの把握に努めています。また、学習面での相談・指導や、受験に向けた面接指導、生活面で不安を抱えた子どもたちへの支援等、児童生徒や保護者の状況に応じて、丁寧に個別の対応を行っています。</p> <p>引き続き、県立学校および各市町の状況を把握し、感染症予防に努めながら、一人ひとりの状況に応じた学習支援を行ってまいります。(教育委員会事務局小中学校教育課、高校教育課)</p>		

<p>回答</p>	<p>・三重大大学の卒業生で中国に帰れない方が出ていて、ビザが切れてしまうと、滞在ができるのか、どうするのか、政府の対応は下りてきていますか。</p> <p>出入国在留管理局から在留期間の延長手続きに関する特例措置（通常は在留期間内に手続きすべきところ、在留期間が過ぎても1か月以内に申請すれば延長できる等）を3月2日から実施する旨、同日情報提供がありました。これを受け、MieCoにおいて相談対応や情報提供を行うとともに、市町へも周知を行っています。（環境生活部ダイバーシティ社会推進課）</p>
<p>回答</p>	<p>・高校生が立ち寄りやすいカラオケルーム・ゲームセンターなどへの対応はどうなっていますか。</p> <p>一斉臨時休業の通知（2月28日）を受け、各学校では、人の集まる場所等への外出を避けることについて、学校のホームページに掲載したり、子どもたちに直接絆ネット等で配信するなど、原則、自宅で過ごすよう指導してきたところです。また、担任から家庭への電話連絡等により、子どもの健康状況や自宅での学習状況を把握する際は、あわせて休業中の過ごし方についても注意喚起をしてきました。学校によっては、教職員が出張等で外に出た際には、自校の生徒が不要な外出をしていないかを注視しているところです。</p> <p>加えて、県教育委員会では、臨時休業中の子どもの外出について、国の新たな通知（3月4日）が出されたことを受け、規模の大小に関わらず風通しの悪い空間で人と人が至近距離で会話する場所やイベントにはできるだけ行かないよう、3月5日付け通知により、再度の徹底を図ったところです。</p> <p>今後も、生徒の状況把握に努めるとともに、生徒たちに連絡をする際には、カラオケルーム等、人の集まる場所への不要な外出は避けるよう改めて周知し、子どもたち一人ひとりの健康と安全を守っていきます。（教育委員会事務局生徒指導課）</p>

回答

・幼稚園・学校・医療機関（個人病院含む）などへのマスク、消毒液の配付の状況・予定は？

マスク等の不足は全国的な問題となっています。県内においてもマスクやアルコール消毒液が不足していることから、三重県薬事工業会等の関係団体に対し、マスク等の増産や適正な流通管理の要請を行うとともに、全国知事会を通じて国にマスクをはじめとする必要な物資の確保について要望を行ってきました。

また、医療機関等からマスクが不足しているとの声を数多くいただいたことから、県が備蓄しているマスクを病院や、県医師会、県歯科医師会を通じて医科診療所、歯科診療所に対し、約12万3,000枚、高齢者施設や障害者支援施設、放課後児童クラブ等に対し、三重県老人福祉施設協会などの関係団体等を通じて7万7,000枚を配布しました。なお、私立幼稚園からは、マスク等の不足を懸念する声をいただいております。今後、個別に私立幼稚園の状況を把握する予定です。

感染拡大を防止する観点から、マスク等の確保は重要です。このことから、全国知事会を通じて、医療機関や教育機関、放課後児童クラブ等で使用するマスク等について、国において必要数を確保し、安定的かつ優先的に提供することを求めています。あわせて、県においてもマスク等の確保に努め、必要とする施設等に配布できるよう、関係部局と連携して取り組んでいきます。（医療保健部新型コロナウイルス感染症対策チーム、子ども・福祉部少子化対策課）

学校へのマスクや消毒液の配布について、マスクは各自が用意することを基本としていますが、急遽必要になることも想定されることから、希望する県立学校に対し、学校規模に応じ150～250枚（合計73校に13,950枚）を配付しました。また、手指の消毒液については、登校する児童生徒や教職員のほか入学者後期選抜（3月10日）における必要量について全県立学校の状況を調査し、不足する学校に35本を配付しました。今後、各学校で必要量の購入を進めるとともに、追加で配付するなど、適切に対応してまいります。なお、市町の取組については、学校に対してマスクや消毒液の配付を行った例もあると承知しております。（教育委員会事務局保健体育課、小中学校教育課）